

POSTコロナを見据えた 食の「分かる・選べる」化について

農林水産部農政課
（一社）京都府食品産業協会
京都府料理飲食業組合連合会

京都の食を取り巻く背景

コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸
などにより、食の需要が多様化

コロナ前 文化が異なり、多様性がより顕著な
外国人観光客が多い

WITH デリバリーサービスなどが普及する
ことで平時の食の選択肢が増加

POST 大きく落ち込んでいた観光需要・
外食需要が回復



「あるべき姿」は

どんな人でも、

食 = 楽

であること。

「あるべき姿」は

京都では、どんな背景を持つ人でも

食を楽しむことができる

現状の仮説

府民や観光客の中には、宗教や体質などにより
食に制限がある人が相当な割合で存在する



食 ≠ 楽



補足 — 「食の制限」とは

この研究では、

- ・ 信 条（菜食主義など）
- ・ 宗 教（肉食禁止、飲酒禁止など）
- ・ 体 質（食物アレルギーなど）
- ・ 身体障害（怪我、老化など）
- ・ 慢性疾病（糖尿病、高血圧症など）
- ・ そ の 他

研究の概要

研究①
仮説の検証

研究②
問題点と課題の把握

あるべき姿

京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

現 状(仮説)

府民や観光客の中には、宗教や体質などにより食に制限がある人が相当な割合で存在する

研究③
課題解決方法の検討と施策の提案

背 景

- コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸などにより、食の需要が多様化
- コロナ前 文化圏の異なる外国人では、多様性がさらに顕著
- WITH デリバリーサービスなどが普及することで平時の食の選択肢が増加
- POST 大きく落ち込んでいた観光需要・外食需要が回復

研究の概要

研究①
仮説の検証

研究②
問題点と課題の把握

あるべき姿

京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

現 状(仮説)

府民や観光客の中には、宗教や体質などにより食に制限がある人が相当な割合で存在する

研究③
課題解決方法の検討と施策の提案

背 景

- コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸などにより、食の需要が多様化
- コロナ前 文化圏の異なる外国人では、多様性がさらに顕著
- WITH デリバリーサービスなどが普及することで平時の食の選択肢が増加
- POST 大きく落ち込んでいた観光需要・外食需要が回復

研究① 仮説の検証

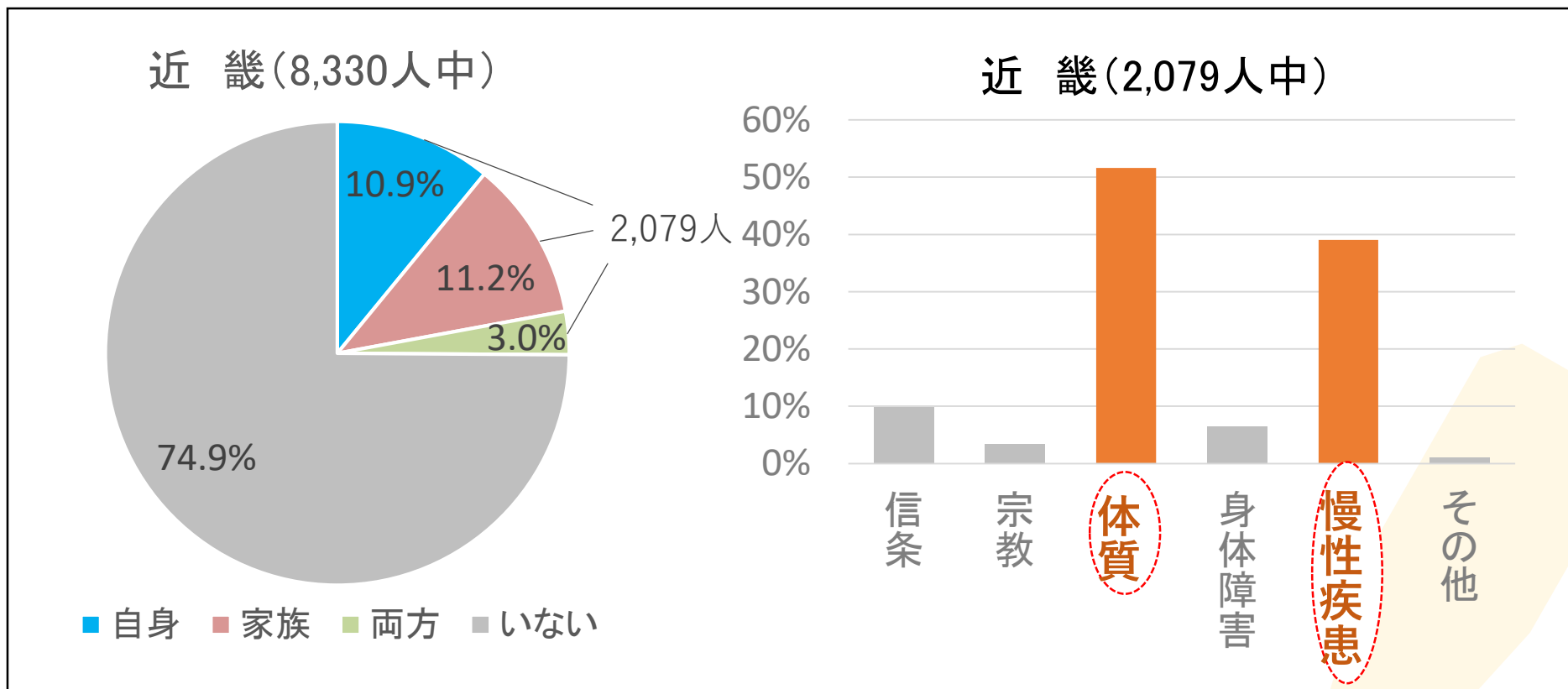
現 状(仮説)

府民や観光客の中には、宗教や体質などにより食に制限がある人が相当な割合で存在する

Q1. 食の制限を持つ人の割合は？

Q2. どんな理由によるものか？

食の制限を持つ人の割合とその理由



「食の制限に関するアンケート調査 (R3.10 京都府)」より

A1. 4人に1人が食の制限を気にする必要がある

A2. 身体的な要因による食の制限が大半を占める

仮説の検証結果

少し修正して

現 状

府民や観光客の 4 人に 1 人 は、身体的要因 を中心とした理由により 食の制限 を気にしている

研究の概要

研究①
仮説の検証

研究②
問題点と課題の把握

あるべき姿

京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

現 状

府民や観光客の 4人に1人は、身体的要因を中心とした理由により 食の制限を気にしている

研究③
課題解決方法の検討と施策の提案

背 景

- コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸などにより、食の需要が多様化
- コロナ前 文化圏の異なる 外国人では、多様性がさらに顕著
- WITH デリバリーサービスなどが普及することで 平時の食の選択肢が増加
- POST 大きく落ち込んでいた 観光需要・外食需要が回復

研究② 問題点と課題の把握

現 状

府民や観光客の4 人に
1 人は、身体的要因を
中心とした理由により
食の制限を気にしている

あるべき姿

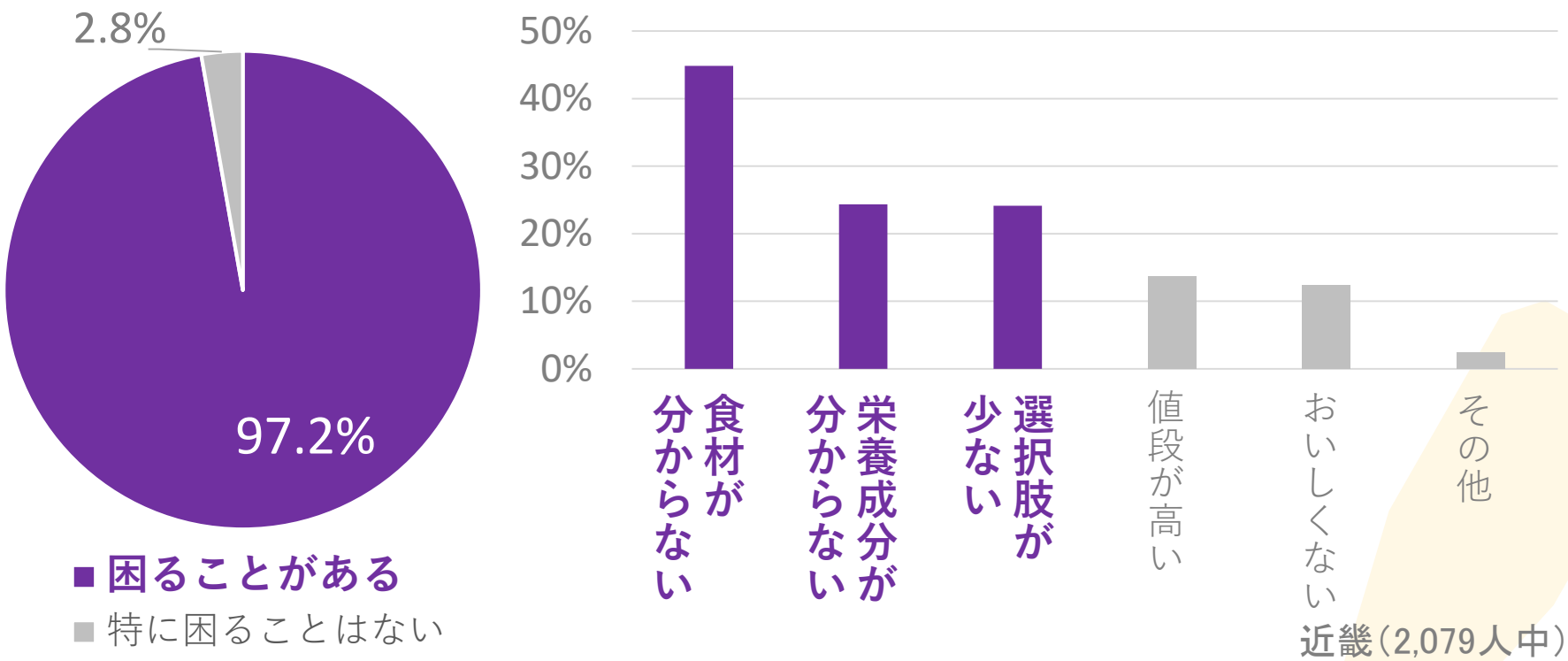
京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

Q3. 現状とあるべき姿の間にある問題点とは？

消費者側から見た問題点

(自由回答)

(Q.飲食店を利用するときや食品を購入するときに困ることがありますか。また、その理由はなんですか)

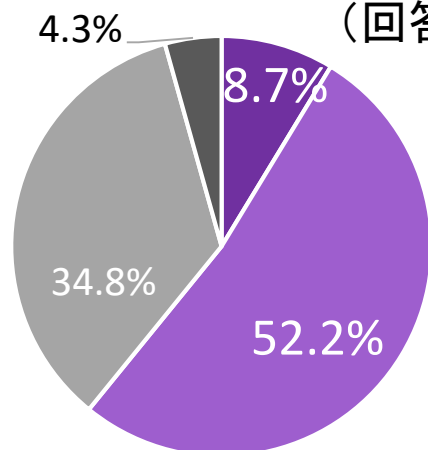


「食の制限に関するアンケート調査 (R3.10 京都府)」より

A3-1. 食の制限を持つほぼ全ての人に不満があり、
特に 情報や選択肢が不足していると感じている

事業者側の問題点

食品製造事業者へのアンケート
(回答23社)



(Q.食の制限について意識していますか)

- 意識していない・よく知らない
- 意識はしているが、対応していない
- 意識しており、対応する商品もある
- 全ての商品で対応している

飲食関係事業者からのヒアリング

- 入っている**食材は聞かれれば答える**が、メニュー表に記載するのは手間
- 食の制限に**対応した料理を考案するのは大変**なので対応できない
- アレルギーは分かるが、**ベジタリアンや宗教関係は複雑で難しい**
- 分析に**費用がかかるので栄養成分表示するのは難しい**

ほとんどが**十分な知識を持ち、情報をオープン**にすることで対応可能

A3-2. 事業者の多くは、ある程度意識を持っているが、
十分な知識がないため、十分な対応となっていない

問題点から導かれる課題

課 題

食関連事業者に食の制限に関する正しい知識を普及し、情報・選択肢不足を解消するための手段を提供することが必要

研究の概要

研究①
仮説の検証

研究②
問題点と課題の把握

あるべき姿

京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

現 状

府民や観光客の 4人に1人は、身体的要因を中心とした理由により 食の制限を気にしている

研究③
課題解決方法の検討と施策の提案

背 景

- コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸などにより、食の需要が多様化
- コロナ前 文化圏の異なる外国人では、多様性がさらに顕著
- WITH デリバリーサービスなどが普及することで 平時の食の選択肢が増加
- POST 大きく落ち込んでいた 観光需要・外食需要が回復

研究③ 課題解決方法の検討と 施策の提案

課 題

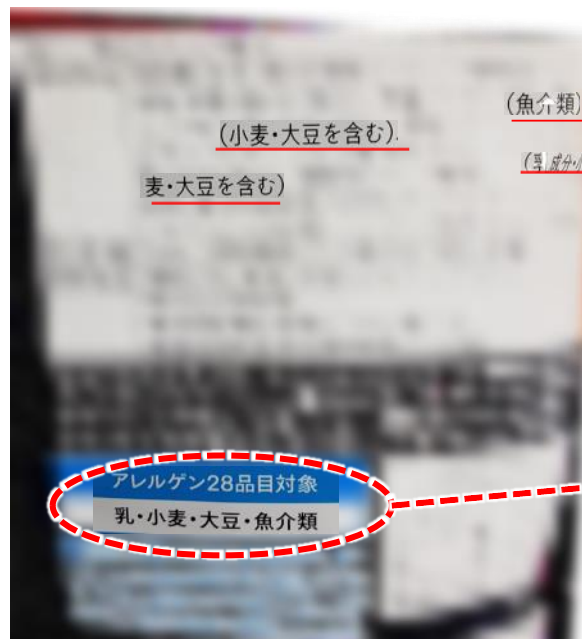
食関連事業者に食の制限に関する正しい知識を普及し、情報・選択肢不足を解消するための手段を提供することが必要

Q4. 課題解決の方向性は？

Q5. その具体的な手法と施策内容は？

情報・選択肢提供の事例（民間事業者）

アレルギーの強調表示（大手菓子メーカー）



法律上の
義務表示

わかりやすく
アレルギーを
表示

熱量・塩分の記載（大手飲食チェーン）



健康維持に有用な情報の記載
（法律上記載の義務はない）

大手事業者による情報提供の取組



中小事業者は・・・

情報・選択肢提供の事例（他自治体）

多言語メニュー作成支援サイト

飲食店が、外国人観客向けのメニューブックを作成するに当たって、多言語への翻訳から印刷までをナビゲートしてくれる登録制ウェブサイト

- 全国で10以上の自治体で作成・運用
- ※ ウェブサイト構築・保守等は外部委託



(出典：東京都多言語メニュー作成支援ウェブサイト)

鶏肉と野菜の煮物(torinku,yasainonimono) | Chicken Meat, Vegetables Simmered Dish | 닭고기,야채조림 | Thịt gà,Rau hãm

日本料理の味 | Flavors of Japanese Cuisine | 일본의 요리 맛 | Hương vị món ăn Nhật Bản

鶏肉 / 冬 squash / 卵plant / 大根 Radish / Koyadofu, Freeze-dried Tofu / Min, Sweet Sake / Sugar / Soy Sauce / Soup Stock | 닭고기 / 호박 / 가지 / 무 / 고야두부(연두부)를 잘게 잘라 말린것 / 미림 / 설탕 / 간장 / 천연초미음(다시마, 멸치, 가다랑어 쏜 등을 끓인 육수) | Thịt gà / Bì / Cà tím / Củ cải / Koyadofu, tàu hũ khô đông lạnh / Rượu Mìn / Đum / Shoyu / Nước lèo

料理説明の多言語表記

使用食材ピクトグラム

作成メニュー例

(出典：東京都多言語メニュー作成支援ウェブサイト)

- サイト作成：約9百万円（島根県）
約5百万円（神戸市）
- 登録店舗数：約1,800店舗（東京都）
約2,000店舗（大阪府）
約100店舗（島根県）

外国人対応のための飲食店向けサービス

府民や国内観光客へは・・・

食品メーカーには・・・

解決の方向性

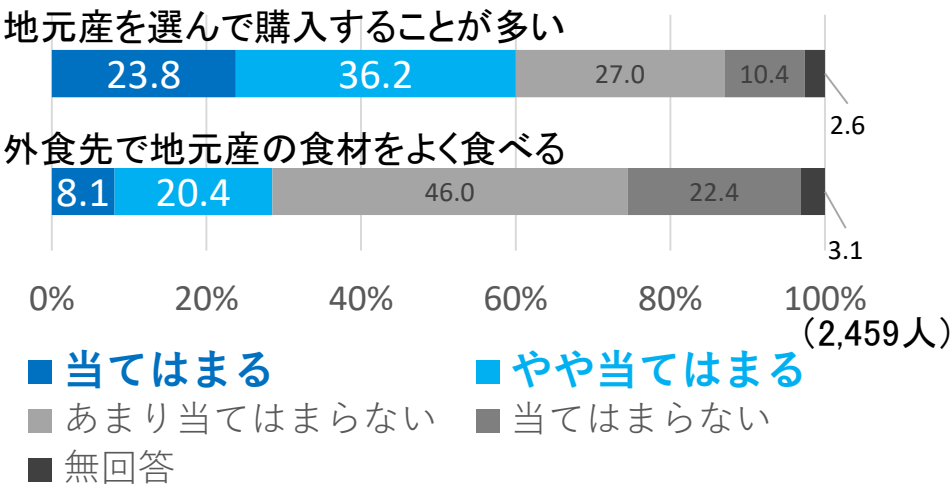
A4. 食の制限対応に関する正しい知識の習得機会を提供するとともに、

- 中小規模の事業者でも可能で、
- 飲食店のほか食品メーカー等でも取り組める
- 外国人観光客のほか府民や国内観光客をターゲットとした

食の制限に関する情報・選択肢不足を解消する仕組みを提供する。

+αの取組 ～食の志向への対応～

消費者の意向



「買い物と食事に関する意識・意向調査 (H30.10 農林水産省)」より

関係団体等からのヒアリング

- 京都府産食材を使いたいという飲食店からの相談を時々受ける
- 伝手がないので色々と電話をかけている、というケースが多い
- 飲食店自らが直接生産者を探して、選べる環境があることが理想

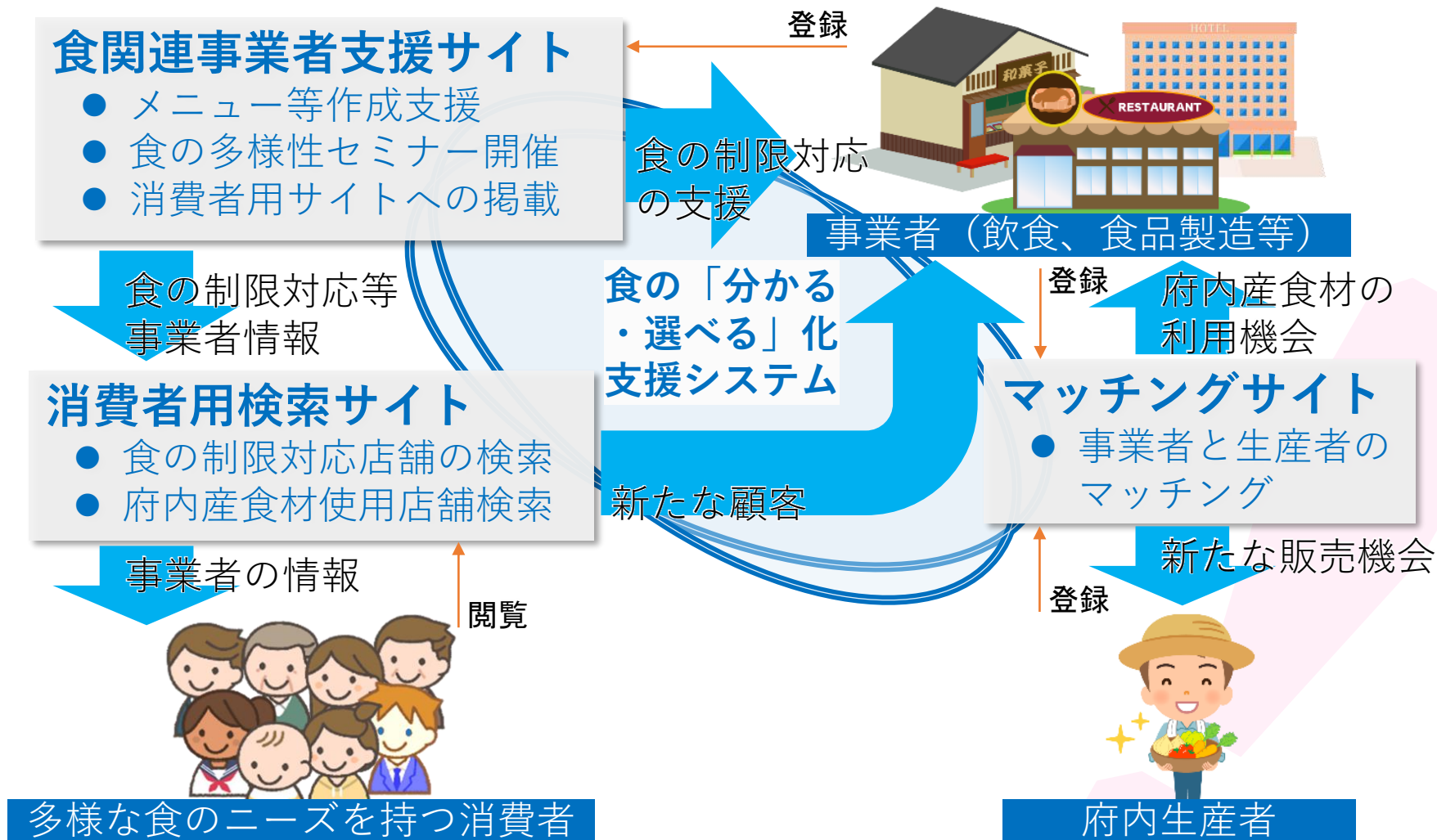
消費者は**地元産のものを食べたい**が、飲食店には**あまりない**
飲食店は**地元産のものを使いたい**が、仕入れが**難しい**

A4(ex).

食関連事業者と生産者が、（誰かがつなげるのではなく、）
自分たちでつながることができる仕組みを提供する。

施策の提案

A5. 食の「分かる・選べる」化支援システムの構築



システムの具体的な内容①

登録した食関連事業者には、

- **メニュー、ラベル等作成支援サービス<支援サイト>**
栄養成分(自動計算)、使用食材表記、写真・イラスト付きの多言語(自動翻訳) **メニュー作成ナビゲーション**
- **食の多様性セミナー等案内サービス<支援サイト>**
食の多様性に関する **無料セミナーなどの開催**
- **検索サイトへの自動掲載サービス<支援サイト>**
消費者向け店舗検索サイトに登録情報（メニュー、制限対応等）を自動掲載
- **生産者とのマッチングサービス<マッチングサイト>**
府内産食材・生産者の情報検索・レコメンド機能、問い合わせフォーム、食材募集フォーム 等 **を提供**

システムの具体的な内容②

閲覧する消費者には、

- 検索サイトから店舗情報検索サービス<検索サイト>
多言語案内、条件検索機能（ジャンル、エリア、食の制限
対応等）、レコメンド機能
を提供

登録した生産者には、

- 事業者とのマッチングサービス<マッチングサイト>
問い合わせフォームを介したマッチング、食材募集フォー
ムへの応募
を提供

ロードマップと予算規模



R 9 年度以降、

- 登録年会費1,000円程度を徴収、収益化
- システム保守・運用を外部に委譲

して、事業終了

京都府が取り組む意義①（公共性）

資金の大小、業種、顧客層の違いを超えて、
同じ目的のための取組を推進できる



京都で食事をする全ての人に
アプローチできる



京都府が取り組む意義②（強み）

行政が提供する仕組みへの**事業者・生産者からの信頼感**

行政の取組に参加する事業者への**消費者からの信頼感**



いわゆる京都府の「おすみつき」

この提案が実現すると

わたしが
食べられるのは
サラダくらいかな...

本当は
お腹いっぱい
食べたいけど...

卵が入っていない
料理は
どれだろう...

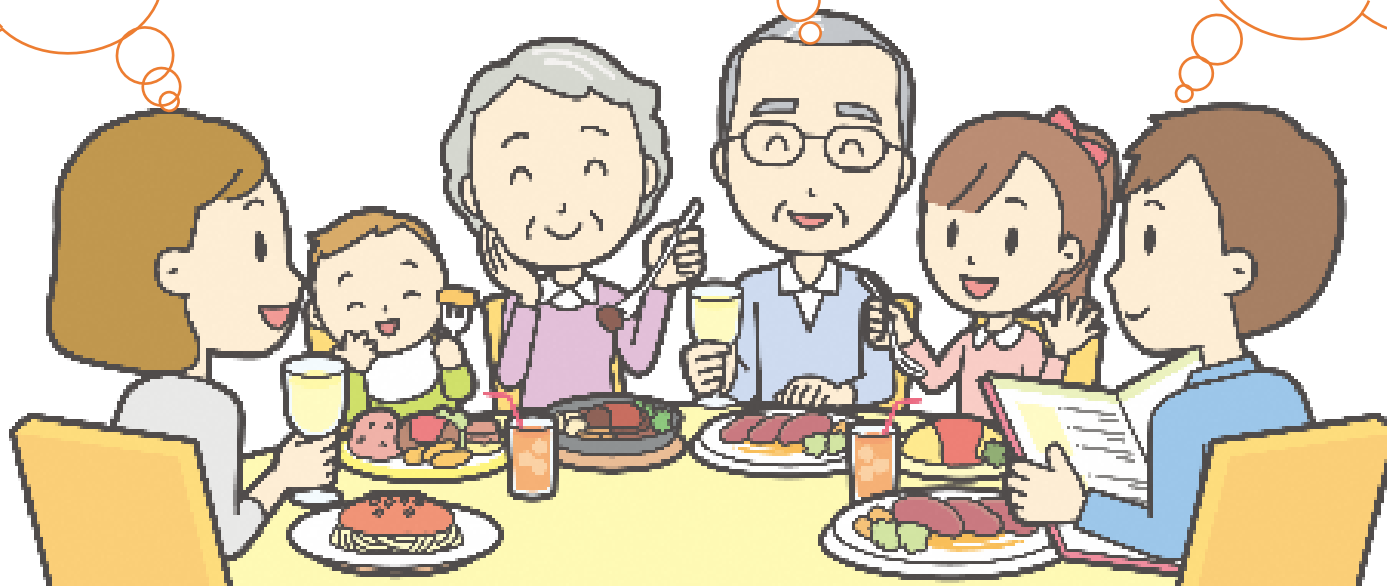


この提案が実現すると

この料理は
ベジタリアンでも
食べられるのね！

これなら
塩分を気にせずに
食べられるぞ！

子どもたちの
アレルギーも
心配なさそうだ



まとめ

実現すると

京都では、どんな背景を持つ人でも、食を楽しむことができる

提 案

食の「分かる・選べる」化支援システム

現 状

府民や観光客の4 人に 1 人は、身体的要因を中心とした理由により食の制限を気にしている

背 景

- コロナ前 生活習慣の多様化や平均寿命の延伸などにより、食の需要が多様化
- コロナ前 文化圏の異なる外国人では、多様性がさらに顕著
- WITH デリバリーサービスなどが普及することで平時の食の選択肢が増加
- POST 大きく落ち込んでいた観光需要・外食需要が回復